

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

(学) 坂越学園 南港幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・ 相手を理解しおもしろいのある子どもに (感謝の気持ち)
- ・ 豊かな情操 健全な心身を持った子どもに (自ら行動する力)
- ・ きまりを守り、進んで物事に取り組み、そしてやりとげる子どもに (社会性、協調性)
- ・ 素直でのびのびとした子どもに

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

安全・衛生的な環境で、幼児の個性を尊重し、充実した保育を行う。
新型コロナウイルス等の感染防止に務める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	安全、衛生的な環境を整える	A	登園時の検温、手指の消毒を徹底した。保育終了後の施設内のアルコール消毒に取り組む。在園児の体調を保護者と共有し、感染対策をしながら無理のない保育を行うことができた。
2	教育の質の向上の為に研修や園内研修を充実させる	B	リモート研修などにも参加し保育の質の向上を目指し、全職員で共通認識ができるようにした。
3	子ども達の発達にふさわしい表現力・想像力を高める	B	遊びを通して様々な事柄を楽しみながら経験し、広がりを持った保育を展開した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	職員で共通認識を持って教育方針に沿った保育を実践することができた。これからも、日々の自分の保育を振り返り、より充実した保育に努めたい。新型コロナウイルス、ICT化などの環境の変化が著しいが、対応しながら保育を実施することができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境、安全管理	幼児の発達に沿った環境構成ができているか再確認する。衛生管理の徹底を続ける。
2	特別支援教育	子どもの様子をしっかりと見極めて支援の必要な園児の理解を図るとともに、友達との関わり合いや、支援の必要な園児が自己充実感を味わえる保育のあり方を考える。
3	保育の充実	長期的な計画を立て、見通しを持って早めの計画実践を行うよう心掛ける。教育・保育の内容を丁寧に分析し保育を取り巻く環境に合わせ、新しいものと融合したりと臨機応変に保育をしていく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、行動が滞りされた中での活動が引き続きつづいてきたが、子ども

もたちがのびのびと自己を表現できる豊かな環境で生活している様子がみられた。幼稚園の教育目標のもと個々を大切にきたきめ細かい保育がなされ、子どもを中心に園づくりがされている様子は大変好ましい。0～2歳向けの未就園児保育、満3歳児保育も積極的に取り組んでいて、今後も園の成長を期待したい。

坂越学園学校評価委員名簿

役職	氏名	住所
幼稚園PTA会長	田口 由樹	
幼稚園父母の会会長	小谷 圭美	
幼稚園園医	宮越 一穂	
幼稚園園医	吾妻 昭夫	
幼稚園領域専任講師	中尾 美千子	